

《Lesson 2》 It △△ for ○○ to □□ の否定文&疑問文

It △△ for ○○ to □□ の否定文&疑問文は、

“It ～.” が、何の種類文 (be動詞の文、助動詞の文など) なのかで決まります。

つまり “It ～” が、be動詞の文なら、否定文・疑問文はbe動詞の文と同じ作り方となり、“It ～.” が助動詞の文なら、否定文・疑問文も助動詞の文となります。

<例> It **is** difficult for her to answer this question. → **be動詞の文**
(彼女にとって、この質問に答えるのは難しいです)

《否定文》 It **is not (isn't)** difficult for her to answer this question.
(彼女にとって、この質問に答えるのは難しくありません)

《疑問文》 **Is** it difficult for her to answer this question?
(彼女にとって、この質問に答えるのは難しいのですか?)

<例> It **will** be easy for him to pass that exam. → **助動詞 (will) の文**
(彼にとって、あの試験に合格することは簡単でしょう)

《否定文》 It **will not (won't)** be easy for him to pass that exam.
(彼にとって、あの試験に合格することは簡単ではないでしょう)

《疑問文》 **Will** it be easy for him to pass that exam?
(彼にとって、あの試験に合格することは簡単なのですか?)

ポイント！否定文では何を否定しているかに注意！

例えば、以下の2つの文の場合、否定している場所が異なります。

(1) 私にとって日本語を話さないことは簡単です。 → 否定しているのは「日本語を話すこと」

It is easy for me **not** to speak Japanese. 《他の言語を話すことができるのかもしれない》

(2) 私にとって日本語を話すことは簡単ではありません。 → 否定しているのは「簡単」

It is **not** easy for me to speak Japanese. 《日本語を話すことは難しい》

*to不定詞の部分否定するときには、not が to の前に入る。